

1 本年度の重点教育目標

考える子：夢と希望を持ち、未来を創造するため、支え合い、進んで学びに向かう児童

2 本年度の取組の重点

○社会で生きる力 ・学習や生活の中で活用できる基礎的な力を育てる ・主体的な学びを活かし、進んで多様な人と協働する力を育てる  
○豊かな人間性 ・感性を働かせて理解し、適切に行動する力を育てる ・自己を見つめ、物事を多角的に考える力を育てる  
○健やかな体 ・心身の健康についての課題の解決に向けて、実行する力を育てる ・進んで健康で活力ある自律的な生活を日常化する力を育てる

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
重点教育目標	重点教育目標の達成に向け、教職員が目標を共有・参画し、それが子どもの姿として見られるようになったか	b	概ねできていたが、達成状況を客観的に見取る評価方法を今後も検討していく	a	A	大きな目標だと思います。達成できるよう取り組みを継続してがんばってください。
	重点教育目標を家庭や地域にも理解が図られるよう努めたか	a	学校だより等でお知らせしてきたが、コロナ禍でなければ対面で説明する場を持つ	a	A	早くコロナ禍が終わり制限なく活動できるといいですね。
	重点教育目標への理解・浸透が図られ、日常の教育活動を行っていたか	a	グランドデザインで重点を明確にし、理解が深まった。継続して取り組んでいく。	a	A	わかりやすいグランドデザインだと思います。
社会で生きる力	社会に開かれた教育課程の実現のため、今年度の教育課程の実施に当たって評価を行って取り組んだか	b	赤川地区の目指す子どもの姿を共有化し、幼小中の接続を意識した取り組みを推進する	a	A	引き続き取り組みを推進してください。
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を行ったか	a	学習を見通し、児童の考える場面を明らかにした授業改善に一層力を入れる	a	A	考えるというのは難しいですが、非常に大事なことだと思います。
	一人一台端末を活用した授業の実施に努めたか	a	ICT活用推進委員会が中心となり、全校級で実施することができた。今後はより一層効果的な取組を進めていく	a	A	学級閉鎖の時などオンラインで学習ができるようになるといいと思います。
	自分の良さや可能性に気付かせる「キャリアパスポート」を活用した取り組みの充実を図ったか	b	日常のふり返る活動を関連付け、考えを振り返り、表現する機会を充実させる	a	A	子どもたちがなんとなくでも夢や目標ができればいいと思います。
	全校朝会の計画・運営は、適切に行われていたか	a	一人一台端末を活用した取組を継続していく	a	A	全校朝会を端末を利用して実施するということでしょうか？コロナ禍におけるよう取り組みだと思います。
	学習参観日の設定・時期・場所・内容はどうかであったか。	a	コロナ禍により体育館で学年ごと実施し支障なかったことから取組を継続していく	a	A	中止の学校もある中、三密を避ける良い取り組みだと思います。
	学び合いによって考えを深める道徳科の授業改善を行ったか	a	各学級において適切に実施した。今後は児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を踏まえて、指導と評価の一体化を図る	a	A	中止の学校もある中、三密を避ける良い取り組みだと思います。
豊かな人間性	行事や体験的な活動で、地域環境を活用した道徳教育の充実を図ったか	b	コロナ禍により行事等は予定通りできないものもあった。今後は状況を見ながらオンライン等も視野に入れ充実を図る	a	A	コロナ禍でも実施できるようオンラインを活用し、子どもにとって良いものになるといいですね。
	いじめアンケートや、子ども理解支援ツール「ほっと」の実施や日常の見取りを活かし、自己規範意識と望ましい人間関係を育む指導を行ったか	a	「ほっと」の1回目と2回目の比較から生徒指導上の課題が明らかになったので、課題解決を組織的に行う	a	A	課題が明確になったのは良いことだと思います。課題解決に向けて引き続き取り組んでください。
	児童が自分のストレスの状況を把握し、対応する力を身に付けるストレスマネジメント教育に取り組んだか	b	ストレスマネジメント教育を年度当初より計画的に実施する	a	A	計画的に実行し、少しでも子どものストレスを解消できるといいですね。
	校内での児童の問題行動について対処は適切であったか	a	大きな問題行動は発生しなかったが、細かい事案について組織的に対応できたので、今後も継続していく	a	A	大きな問題があっても、同様の対応ができるよう取り組みを継続してください。
	新体力テストの結果から自分の運動能力を記録し、課題と目標を明確にした体育授業の改善や体づくりの運動の充実を図ったか	b	新体力テストの結果から自分の運動能力を記録し、課題と目標を明確にした体育授業の改善を行う	b	A	課題と目標が明確になり、子どもたちが目標に向かって頑張る達成感を感じられるような授業になるといいですね。
健やかな体	家庭と連携し、メディアに触れる時間、早寝早起き等、基本的な生活習慣の確立を図ったか	b	C Sで連携した「生活リズムチェック表」を活用し、望ましい生活習慣の確立を図る	a	A	一番は、家庭でのルール作りが大事だと思います。
	健康で安全な生活を実践できる指導の充実を図ったか	a	外部講師を招へいた「がん教育」を実施した。今後は学校医等の助言の下養護教諭等による健康相談や保健指導等の充実を図る	a	A	ほかの学校では見られない取組、素晴らしいと思いました。
	関係機関と連携した食育の充実を図ったか	b	栄養教諭と連携した食育推進体制を整備する	a	A	引き続き取組を継続してください。
	発達の段階に応じた命に関する指導に努めたか	b	学校教育全体で性暴力防止に向けた取組を推進し、生命尊重の態度を育成する	a	A	命に関することは一番大事なことだと思います。引き続き取り組んでいただきたいと思います。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。